

Clinic Introduction

Vol.32

いつも笑顔でていねいに

今回ご紹介する先生は、浜田市国分町の久保田眼科・久保田 浩 先生です。

私は兵庫県神戸市で生まれ育ちました。父親が産婦人科医、両親の父親も内科医をしていたため、長男だった私は漠然と自分も医者になりたいと思っておりました。

学生時代に公私ともにお世話になった眼科教授の勧めもあり眼科医になろうと決心しました。昭和61年に川崎医科大学を卒業後、地元の兵庫医科大学の眼科学教室で約10年間お世話になりました。ちょうどその頃、白内障手術(超音波乳化吸引術)の方法が大きくかわる過渡期でした。現在では当たり前の手術となっておりますが、当時はこの手術をされる先生が少なく東京、名古屋、福山、丸亀市などの著名な先生の病院へ見学に行き、手術手技を教えていただいたのがいい思い出となっております。

1995年の阪神大震災をきっかけに、兵庫県浜坂町(現在、新温泉町)の公立浜坂病院にひとり医長として赴任し、外来と手術を行っておりました。浜坂町は日本海に面した人口1万人程度の小さな町ですが、松葉ガニやホタルイカ漁が盛んな港町で、仕事終わりに観る海に沈む夕日に心癒やされておりました。

浜坂病院を退職後、家内の父親が浜田市で内科を開業していた関係もあり、浜田市で平成9年5月に開業いたしました。国府海岸に沈む夕日もさらに素晴らしく、地元の方々の素朴で話しやすい人柄にも惹かれて迷うことなく浜田の地を選びました。

開業して18年が経ちますが、なかなか思うように休みをとって学会出席ができておりません。医療の進歩は日進月歩で待たなしの世界で、新しい治療法が次々と報告されております。診療所のベランダから夕日ばかり眺めていると浦島太郎になってしまうので、月に1度大阪に出かけて勉強会に出席するようにしております。大阪では同門の先生方との旧交を温めながら会食と情報交換を行い、互いに刺激をし合っています。大阪出張で知り得た最新の知見を日々の診療で活かし、患者様に還元できるようにといつも考えております。私ひとりではできないことには限界がありますが、患者様は家族といつも思いながら笑顔で誠実丁寧に接し、納得のいく治療方針を説明させていただくように心がけています。これからも患者様一人一人とじっくり話をして信頼関



係を築き、患者様を大切にしていきたいです。

医療センター眼科の井上先生をはじめ他科の先生方にも紹介させていただいた折はいつも快く診ていただき感謝しております。この場を借りてお礼申し上げます。

インタビューを終えて……………

「趣味は学生時代に始めたゴルフです。医師会や医療センターの先生方とのラウンド以外にも患者様からのお誘いがあり、職種の違う方々との会話は視野が広まり社会生活でとても勉強になっています。家族全員がタイガースファンでたまに球場に出向き大声を上げて応援しストレス発散しています。昨年逃した日本シリーズの優勝を夢見ながら、仕事が終わった後はテレビ応援の毎日です。」と語られた先生からは、明るくて優しい人柄が伝わってきました。



久保田眼科

院長 久保田 浩

〒697-0003

島根県浜田市国分町1981-145

☎0855-28-2211 FAX0855-28-2214

診療科目 / 眼科

毎週月～水、金…8:30～12:00、14:00～17:30

診療時間 / 木…8:30～12:00

土…8:30～12:00

休診日 / 木、土曜日午後・日曜日・祝祭日

## 少しでも、患者さんのお役にたてれば・・・

続いてご紹介する先生は、浜田市長沢町の飯塚皮膚科・飯塚 恒敏 先生です。

私は出雲市斐川町の生まれで、鳥取大学医学部を卒業しました。医療センターの石黒病院長とは同期で、各診療科を同じグループで回った思い出があります。皮膚科というのは診断に至る過程で種々の検査や高度な医療機器を使用することもなく、ただ自分の眼で見えて判断するだけの物足りない科と思えました。迷っている私に皮膚科の教授が言いました。「君は、ネギとニラの区別ができるか?」、「その程度のことなら分かりますよ」、「そうか、それなら皮膚科に入りなさい。何も検査や機械を使わずとも、眼で見、その発疹を頭で考察できればそれでいいのではないのかな!」と。そうして同大学の皮膚科に入局しました。

大学病院での勤務の頃、当時は江村先生が病院長をされていた国立浜田病院から、長年空白の皮膚科の診療のため2週間に1度で構わないから来てくれないかとの依頼がありました。朝5時に米子を出発して浜田へ、診療が終わると看護学校の講義、夕方には益田へ入り、翌日は益田赤十字病院で診察、その後米子へ帰るというハードな生活でした。

その後、鳥取県立中央病院、松江赤十字病院などで一人勤務の経験をさせて頂きました。松江赤十字病院に勤務していた頃、浜田の津摩と長浜から松江まで通ってくるお婆さんがおられました。難病の疾患で、国立浜田病院での縁で遠路を通院されていましたが、「先生が浜田におられたらなあ」と常におっしゃっていました。元々、島根の西部には縁のない私は、松江での開業を考えていました。しかし、折に触れお婆さんのあのつづやき、車で通った波子の海水浴場、折居の紺碧の海などが頭をよぎります。さらに妻が浜田出身ということもあり、一からやってみようという決断をして昭和63年5月に長沢町で開業させて頂きました。

皮膚科は重症疾患の少ない診療科ですが、時に入院の必要なケースがあり、入院施設のない当院での対応に苦慮することがあります。この点を浜田病院の方にお話ししましたところ、患者さんの入院を快く受けて頂き、さらに私が往診をするという形を取って頂きました。往診の際には、他の入院患者さんの皮膚科疾患について相談を受けることもありました。何もわからない開



設当初に、大変ありがたい配慮を頂きました。

開設して今年で27年が経過しました。ありがたいことに、益田以西・大田以东などかなり広域からも患者さんが来院されます。これからは皮膚科医として皮膚のトラブルの際には、患者さんから「皮膚のかかりつけ医」として選んで頂けるよう努力したいと思います。到底無理かもしれませんが、「なんでも鑑定団」の中島誠之助先生のように、前に置けばピタリと当てる!そんな皮膚科医になりたいです。

### インタビューを終えて.....

「蕎麦屋巡りが好きで、鳥根県内の蕎麦屋は全て行きました。不思議なことに、どんなお店でも冷たい蕎麦と温かい蕎麦の両方が美味しいことはないんですよ。蕎麦というのは奥が深い食べ物です。」と熱く語られた先生のインタビューはとても楽しいひとときでした。



## 飯塚皮膚科

院長 飯塚 恒敏

〒697-0023  
島根県浜田市長沢町313-7  
☎0855-23-6625 FAX0855-23-6690

診療科目 / 皮膚科  
診療時間 / 毎週月～水、金・・・9:00～12:30、14:30～18:00  
木・・・9:00～12:30  
土・・・9:00～15:30  
休 診 日 / 木曜日午後・日曜日・祝祭日